

授業科目	解剖学	単位	2	時間	60	履修時期	H31月年度 1年次 1学期	
設定理由	看護の対象である人間の身体的側面を理解するために、身体の形態を学ぶ。成長、発達、障害の理解をするために科学的に看護の行為の裏付けができるような基礎的知識を学ぶ							
学習目標	人体の発生、形態を系統的に理解する							
授業の概要								
授業内容（講義ごとの内容）	形態 1. 序論 2. 人体とその構成 3. 骨格系 4. 骨の連結 5. 筋系 6. 循環器系 7. 呼吸器系 8. 消化器系 9. 泌尿器系 10. 生殖器系 11. 人体の発生 12. 内分泌系 13. 神経系 14. 感覚器						担当者(時間)	
							非常勤講師(60)	
							教員の連携と協力体制	
評価	筆記試験							
テキスト	専門基礎分野 解剖生理学（医学書院） カラーアトラス 人体 解剖と機能（医学書院） 解剖生理学ワークブック（医学書院）							
参考図書								
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)							
備考	2年生の2学期に解剖実習を行う予定							

授業科目	生理学	単位	2	時間	60	履修時期	H31年度 1年次 1学期
設定理由	人間の身体的側面を理解するために、人体の働きを学ぶ科学的に看護の行為の裏付けができるような基礎的知識を身につける						
学習目標	人体のはたらきを系統的に理解する						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	機能						担当者（時間）
	1. 序論						非常勤講師（60）
	2. 血液・組織液およびリンパ						
3. 体液と電解質						教員の連携と協力体制	
4. 循環							
5. 呼吸							
6. 消化と吸収							
7. 栄養と代謝							
8. 体温とその調整							
9. 腎臓および尿路							
10. 内分泌							
11. 骨格筋							
12. 神経系							
13. 感覚器							
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 解剖生理学（医学書院）						
参考図書							
オフィスアワー	（担当講師との連絡相談・確認方法・時間など）						
備考							

授業科目	生化学	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期	
設定理由	どのような生体物質がどのようなはたらきをして生命が成り立っているかという側面から人間の理解を学ぶ							
学習目標	人体の構成成分である化学物質の性状、その分布および代謝について理解する							
授業の概要								
授業内容（講義ごとの内容）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生体分子～細胞～生体</li> <li>2. 栄養・消化・吸収・代謝</li> <li>3. 糖質</li> <li>4. 糖質代謝</li> <li>5. 脂質</li> <li>6. 脂質代謝</li> <li>7. タンパク質</li> <li>8. タンパク質代謝</li> <li>9. 酵素・水と無機質</li> <li>10. ポルフィリン</li> <li>11. ビタミン</li> <li>12. ホルモン・免疫系・オートクイド</li> <li>13. 核酸・核酸代謝</li> <li>14. 遺伝情報とその発現</li> <li>15. 先天性代謝異常</li> </ol>	担当者（時間）						
		非常勤講師(8) 非常勤講師(22)					教員の連携と協力体制	
評価	筆記試験							
テキスト	専門基礎分野 生化学（医学書院）							
参考図書								
オフィスアワー	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)							
備考								

授業科目	微生物学	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期	
設定理由	微生物に関連した病気の成り立ちや回復の促進、予防および健康の保持増進を行うために微生物の特徴と生体に及ぼす影響、またその対応について学ぶ							
学習目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、その対応について修得する							
授業の概要								
授業内容（講義ごとの内容）	1. 微生物の概念と変遷	1. 細菌 2. ウイルス 3. 真菌 4. 原虫					担当者（時間）	
	2. 消毒、滅菌と無菌操作						非常勤講師（15） 総論 細菌	
	3. 感染						非常勤講師（15） 各論 ウイルス	
	4. 免疫							
5. ワクチン及び予防接種						教員の連携と協力体制		
6. 化学療法								
7. 感染症の予防								
8. 微生物学的検査								
評価	筆記試験							
テキスト	専門基礎分野 微生物学（医学書院）							
参考図書								
オフィスアワー	（担当講師との連絡相談・確認方法・時間など）							
備考								

授業科目	病理学	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期～2学期	
設定理由	健康障害時の対象理解のために障害の原因、関連因子と障害による反応を学ぶ							
学習目標	病因と病変の特徴を理解する							
授業の概要								
授業内容（講義ごとの内容）	1. 病因論						担当者(時間)	
	2. 先天異常						非常勤講師(30)	
	3. 代謝異常							
	4. 循環障害						教員の連携と協力体制	
	5. 炎症							
	6. 免疫 膠原病							
	7. 腫瘍							
	8. 老化と死							
評価	筆記試験							
テキスト	わかりやすい病理学(南江堂)							
参考図書								
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)							
備考								

授業科目	治療論概説	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 2学期
設定理由	治療論概説では、放射線・臨床検査・麻酔・ME機器・リハビリテーションについて、看護に役立てるための基礎的知識を学ぶ						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線についてその原理と種類から、人体に与える影響を理解する。また、患者情報を得る1つとして、読影の方法について理解する</li> <li>・検査について、検査の種類と検体の取り扱いについて学び、正確な検査結果を得る必要性について理解する</li> <li>・手術療法を行う上で必要な麻酔について、その種類と方法、麻酔が人体に与える影響を理解する</li> <li>・患者の全身管理を行う上で必要となるME機器について、その正しい取扱いと注意点について学び、ME機器の適正管理の必要性について理解する</li> <li>・リハビリテーションについて他動運動での関節可動域訓練の方法について理解する</li> </ul>						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	<放射線> 1. 放射線の原理と注意点 2. 放射線検査・治療について 3. 読影の方法について(胸部・腹部・CT・MRI) <麻酔> 1. 麻酔の種類と方法 2. 麻酔が人体に与える影響について ・心肺蘇生法、気道の確保、気管内挿管、人工呼吸療法 ・電気的除細動 <ME機器> 1. ME機器の取り扱いについて 2. 使用上の注意事項について 3. 輸液ポンプの操作、シリンジポンプの操作 4. 低圧持続吸引器の操作 <臨床検査> 検体・病理・生理 1. 検査の種類と検体の取り扱い方法 2. スパイロメーター、12誘導心電図 <リハビリテーション> 1. 関節可動域訓練について 2. 筋収縮訓練 3. 体重負荷ができない患者のベッドから車椅子への移動 4. 麻痺のある患者のベッドから車椅子への移動					担当者(時間)	
						医師(10) 医師(7) 臨床工学士(4) 検査技師(4) 理学療法士(5)	
							教員の連携と協力体制
評価	筆記試験またはレポート						
テキスト	専門 I 臨床看護総論 (医学書院) 別巻 臨床検査 (医学書院) 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) がん放射線療法ケアガイド(中山書店)						
参考図書							
オフィスアワー	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	疾病論 I (循環器・腎臓・血液造血器)	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期～2学期		
設定理由	循環器系・腎臓・血液造血器系の疾患及び診断、治療、検査を理解する								
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ								
授業の概要									
授業内容（講義ごとの内容）	1. 循環器系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  2. 腎臓系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  3. 血液・造血器系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解						担当者(時間)		
							医師(11)		
							医師(8)		
					医師(11)				
					教員の連携と協力体制				
評価	筆記試験								
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「3」循環器（医学書院） 専門分野Ⅱ 成人看護学「8」腎・泌尿器（医学書院） 専門分野Ⅱ 成人看護学「4」血液・造血器（医学書院）								
参考図書									
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)								
備考									

授業科目	疾病論Ⅱ (呼吸器・脳神経)	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期～2学期
設定理由	呼吸器系・脳神経系の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業の概要							
授業内容 (講義ことの内容)	1. 呼吸器系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  2. 脳神経系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解						担当者(時間)
							医師(4) 医師(7) 医師(4)  医師(8) 医師(7)
							教員の連携と協力体制
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「2」呼吸器 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「7」脳・神経 (医学書院)						
参考図書							
オフィスアワー	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							



授業科目	疾病論Ⅲ (消化器・内分泌・歯科口腔)	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期～2学期
設定理由	消化器系・内分泌系・歯科口腔内の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 消化器系（内科系・外科系） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  2. 内分泌系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  3. 歯科口腔 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解						担当者（時間）
							医師（9） 医師（8）  医師（9） 医師（4）
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「5」 消化器（医学書院） 専門分野Ⅱ 成人看護学「6」 内分泌・代謝（医学書院） 専門分野Ⅱ 成人看護学「15」 歯・口腔（医学書院）						
参考図書							
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	疾病論Ⅳ (泌尿器・生殖器・運動器)	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 1学期～2学期
設定理由	泌尿器系・生殖器系・運動器系の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 泌尿器系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  2. 生殖器系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解  3. 運動器系 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療 3) 疾患の理解						担当者(時間)
							医師(9)  医師(12)  医師(5) 医師(4)
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「8」腎・泌尿器（医学書院） 専門分野Ⅱ 成人看護学「9」女性生殖器（医学書院） 専門分野Ⅱ 成人看護学「10」運動器（医学書院）						
参考図書							
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	疾病論Ⅴ (感覚器・感染症・免疫)	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 2年次 1学期
設定理由	感覚器・感染症の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業の概要							
授業内容 (講義ごとの内容)	1. 感覚器系の疾患と診断、治療検査 1) 耳鼻咽喉 2) 眼 3) 皮膚  2. 感染症の疾患と診断、治療検査 おもな感染症 エイズ  3. 免疫機構 アレルギー 自己免疫疾患						担当者(時間)
							医師(7)
		医師(7)					
	医師(7)						
	医師(4)						
	医師(5)						
	教員の連携と協力体制						
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「11」アレルギー 膠原病 感染症 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「12」皮膚 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「13」眼 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「14」耳鼻咽喉 (医学書院)						
参考図書							
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	疾病論Ⅵ(精神)	単位	1	時間	15	履修時期	H31年度 2年次 1学期
設定理由	主な精神障害と精神症状がある対象を理解し、その治療方法を学ぶ。						
学習目標	主な精神障害と精神症状がある対象とその治療方法を理解する。						
授業の概要							
授業内容(講義ごとの内容)	1. 精神科で会う人々 1)精神を病むことと生きること 2)精神症状論と状態像 3)精神障害の診断と分類  2. 疾患について 1)統合失調症 2)認知症 3)発達障害 4)その他  3. 精神科での治療 1)治療の前に考えておくべきこと 2)身体療法 3)精神療法 4)行動療法およびリラクゼーション 5)環境療法・社会療法 6)集団精神療法 7)家族療法						担当者(時間)
							医師(15)
							教員の連携と協力体制
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 (医学書院)						
参考図書	精神看護学[2]精神看護の展開(医学書院)						
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	薬理学	単位	1	時間	30	履修時期	H31年度 1年次 2学期
設定理由	薬物が人体に及ぼす作用と薬物に影響を及ぼす諸因子を理解し、対象の健康障害の回復を促すための知識とする						
学習目標	薬物の特徴、作用機序および薬物の管理について理解する						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 薬理学とは 2. 薬理学の基礎知識 3. 抗感染症薬 4. 抗がん薬 5. 免疫治療薬 6. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 7. 末梢での神経活動に作用する薬物 8. 中枢神経系に作用する薬物 9. 心臓血管系に作用する薬物 10. 呼吸・消化器・生殖系に作用する薬物 11. 物質代謝に作用する薬物 12. 皮膚科用薬・眼科用薬 13. 救急の際に使用される薬物 14. 漢方薬 15. 消毒薬 16. 輸血製剤・輸血剤						担当者（時間）
							医師（8） 薬剤師（22）
							教員の連携と協力体制
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 薬理学（医学書院） カラーイラストで学ぶくすりの作用メカニズム						
参考図書							
オフィスア	（担当講師との連絡相談・確認方法・時間など）						
備考							

授業科目	栄養学	単位	1	時間	15	履修時期	H31年度 1年次 2学期
設定理由	食生活は人間の健康と深い関連がある。人体の健康と栄養素の関連だけでなく、生活の中における食事のあり方と健康と健康障害との関係について学ぶ						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にとっての栄養の意義を理解し、健康を維持するための適切な栄養について考察する</li> <li>・各疾患における食事療法の意義と実際について理解する</li> </ul>						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 栄養の意義と栄養学の目的 2. 栄養の資材とその栄養価 3. 食物摂取とその消化吸収 4. 栄養素のエネルギー変換 5. 臨床栄養						担当者(時間)
							管理栄養士(15)
							教員の連携と協力体制
評価	筆記試験						
テキスト	看護栄養学（医歯薬出版） 日本食品成分表（医歯薬出版）						
参考図書							
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	社会福祉論	単位	2	時間	30	履修時期	H31年度 2年次 1学期
設定理由	国民の健康生活を守る上で必要な保健・福祉システムを理解するために社会保障・社会福祉の理念と諸制度を理解する。						
学習目標	変化する社会の動向に伴う医療に関する社会福祉・社会保障制度の活用方法を理解する。						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 社会保険制度と社会福祉 2. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 3. 医療保障 4. 介護保障 5. 所得保障 6. 公的扶助 7. 社会福祉の分野とサービス 8. 社会福祉実践と医療・看護 9. 社会福祉の歴史						担当者(時間)
							非常勤講師(15) 非常勤講師(15)
							教員の連携と協力体制
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 社会保障・社会福祉 (医学書院)						
参考図書							
オフィスア	(担当講師との連絡相談・確認方法・時間など)						
備考							

授業科目	地域保健論	単位	2	時間	30	履修時期	H31年度 3年次 1～2学期
設定理由	健康上の問題を解決するためには世界や時代の動きへの理解が重要である。そのため公衆衛生に関連する統計情報を学ぶ。また、人間の健康を守るため、保健活動について学ぶ。						
学習目標	一人一人の健康は時代や世界の動きの影響を受けていることを理解し、組織的な保健活動を理解する。						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 公衆衛生のエッセンス 2. 公衆衛生の活動対象 3. 公衆衛生のしくみ 4. 環境と健康 5. 国際保健 6. 集団の健康をとらえるための手法－疫学 7. 地域保健 8. 学校と健康 9. 職場と健康 10. 健康危機管理・災害保健					担当者（時間）	
						非常勤講師（30）	
						教員の連携と協力体制	
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生（医学書院）						
参考図書	厚生統計協会 国民衛生の動向（2年次購入分）						
オフィスア	（担当講師との連絡相談・確認方法・時間など）						
備考							



授業科目	関係法規	単位	2	時間	30	履修時期	H31年度 3年次 1～2学期
設定理由	看護職に必要な法令、安全な看護の提供をするため、関係職種の業務の法的根拠と合わせて、法令に基づいた看護職の働きや責任について学ぶ。また、看護の対象である人間の生活、健康を支えることに関係する保健・医療・福祉の各分野の連携を法的に理解し、看護職の責任、役割を自覚し、看護マネジメントにいかせる能力を養う。						
学習目標	1. 人々の健康な生活を支えている法令、健康な生活を維持するために活用できる法令をそれぞれの関係性を踏まえて理解する。 2. 看護職として働くにあたって自らの身分や責任、業務を理解する。						
授業の概要							
授業内容（講義ごとの内容）	1. 看護職に関わる法について					担当者（時間）	
	2. 厚生労働省行政のしくみ 3. 医療・福祉・保健関係法規 1) 医事法規、保健衛生法規 2) 環境衛生法、環境法 3) 福祉関係法規 4) 社会保障法、労働法と社会基盤整備 5) 業務法規					非常勤講師(8)	
	4. 保健師助産師看護師法 1) 保健師助産師看護師法の歴史と現状 2) 免許の要件 3) 試験 4) 義務 保健師助産師看護師の業務 業務独占と名称独占 守秘義務 業務従事者届 業務範囲を守る義務 看護師に禁止されている行為 5) 養成制度 5. 医療と法 1) 医療過誤 2) 医療行為と紛争（法的責任） 6. 法に定められた職業的責任 【事例検討】					専任教員(9)	
						薬剤師(2)	
						教員の連携と協力体制	
評価	筆記試験 グループワーク・課題（講義時に説明）						
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令（医学書院）						
参考図書	看護六法（新日本法規出版） 国民衛生の動向（厚生統計協会）						
オフィス	（担当講師との連絡相談・確認方法・時間など）						
備考							